

みゆきコミュニティだより

第四十三号



発行 御幸コミュニティ広報情報部
御幸地区コミュニティセンター
亀山市東御幸町二二〇―三
電話・FAX 八三―一二三二

二十六年度のスタートにあたって

会長 小林 昭一

御幸地区コミュニティの会員の皆様には、日ごろ何かとコミュニティ活動にご協力いただき、心より御礼申し上げます。

会長の任期も最終年度になりました。今年度も気合を入れて諸活動に取り組み、任期を終えたいと思っております。



五月二十五日に実施しました「ふれあい小旅行」は、レクリエーション体育部の企画で、古都奈良の散策と銘打って東大寺大仏殿、平城京跡を訪ねました。晴天に恵まれ、本当に楽しく一日を過ごすことができました。

また、今回は、若い人や子どもたちが参加され、バスの中は、例年とは違った雰囲気を感じることができました。今後の行事にも若い年代の人たちの参加を期待しております。

今回の広報紙に各部の主な行事が記載されておりますので、出来るだけ会員の皆様のご協力とご参加をお願いいたします。



二十六年通常総会開催

各部の主な活動(予定)

【広報情報部】

広報誌「みゆきコミュニティだより」の発行(七月、十二月、三月)

【教育文化部】

文化祭(三世代交流会)の開催(十一月)、映写会(二月)

【レクリエーション体育部】

ふれあい小旅行(五月実施済)、壮年ソフトボール参加(十月)、健康づくり・ゲーム&ミニ運動会(二月)

【福祉環境部】

花壇整備(八月、十二月)、合同清掃活動(八月)、敬老会(九月)

【青少年育成部】

夏休み課外活動(七・八月)

【全ての部】年末清掃活動(十二月)

二十六年度役員・幹事等

本年度は、役員等は二年任期の二年目になります。今年度、変更分のみを、お知らせいたします。

〈自治会長〉

鍛田 大作(東御幸第二)

川原林秀樹(東御幸第三の二)

岩間 清秀(東御幸第三の二)

志賀 幸治(グリーンフィールド東御幸) ↓教育文化部

〈幹事〉

森中 英夫(東御幸第二) ↓教育文化部

村山 明(グリーンフィールド東御幸) ↓福祉環境部

〈各種団体〉

大西 崇之、北本 純子(育成会小学部) ↓青少年育成部

伊藤 育代、鍛田 立子(育成会中学部) ↓青少年育成部

【お詫び】

総会資料第四号議案、専門部員の構成についての中で次の二名のお名前が漏れていました。大変申し訳ありませんでした。

・森 順一(レクリエーション体育部)

・谷川 浩司(福祉環境部)

本年度の行事紹介

〈レクリエーション体育部〉

ふれあい小旅行

レクリエーション体育部部长 野田 健一
去る五月二十五日に当地区コミュニティ主催のふれあい小旅行が「古都奈良の散策」と銘打って開催されました。

昨年度に続き五月晴れとなり、雨男返上した副部长の中村孝迪さんの事前調査が行きとどいており段取りは最高でした。本年度は、新しい顔ぶれも加わり、老若男女合わせ総勢四十

一名の参加のもと、午前九時過ぎに亀山駅前を出発し、一路奈良市を目指す車内にて、東大寺にまつわるクイズを行いながら、バス車内で隣席の方と「ふれあい」交流を深めつつ東大寺に到着。

大仏殿を拝観し、中指の長さ一〇八センチメートルを目のあたりにし、その大きさに改めて感動を受けたものです。道中準備をしていた「魚長のあなご弁当」を境内の日蔭で食し舌鼓をうち、ゆったりとした時の空間で休息を終え、土産物を購入して次の目的地である西の京へと出発。



次の目的地であった平城京跡にて、地元ボランティアガイドさんの案内で、平城京跡資料館内を説明していただき、大極殿へと歩を進め、大極殿の上から朱雀門を眺め、二二〇万平方メートルの広大な敷地を眺望し、爽やかな風を満喫し、天皇の香りに酔いしれながら帰路に・・・。

また、帰路につく車内において、午前中に行われたクイズの成績発表を行い一〇点満点中八点の成績をあげた人に優勝賞品が手渡された。

途中、針テラスで休憩をとりながら、午後五時半に、体調を崩される方もなく無事到着。

参加者の感想

ふれあい小旅行に参加して

志賀 幸治

現在、グリーンフィールド東御幸地区に住んで三年目になります。

小学校三年生と四歳の姉妹と私たち夫婦の四人で、今回初めて御幸地区の小旅行に参加させていただきました。

場所は奈良県。バスで二時間弱の所です。車内ではクイズ大会があり、大人の私たちでも難問なのですが、奈良旅行を楽しむにはとても勉強になる内容のものでした。一〇問の出題で、成績上位の者には景品が出るということで、みんな必死になって回答しました。

奈良への経路は名阪国道で何度も通ったことのある道でしたが、バスから見る景色は、普段と違う景色に見えてとても新鮮

でした。

また、車内はとても和やかな空気で、あつという間に東大寺に着いたように感じました。

上の子は二回目、下の子は初めての東大寺です。前回来たとき、上の子は保育園だったのですが、鹿にエサをあげようとした時の鹿の勢いにビックリして泣いていました。二人のリアクションを楽しみにして見ていましたが、とても楽しそうに鹿を見ていました。鹿を見ながらメインの大仏殿に着きました。

大仏の後はお楽しみの昼食タイム。魚長の弁当です。鈴鹿の有名店の弁当で、公園内の木陰でおいしくいただきました。

昼からは、バスに乗り込み、今度は平城宮です。私たち家族は初めての場所です。

現地では、ボランティアガイドさんが丁寧に説明していただき、平城京の歴史が学べました。広い平城宮で大人はヘトヘト、子どもたちは元気。



帰りのバスの時間になりました。針パーキングでお土産を買って、トイレ休憩です。帰りの車内もとても和やかな空気。そして、最後のイベント、行きのバスでのクイズ大会の結果発表です。なんと娘の同級生の女の子が優勝しました。準優勝も同級生の女の子で大人顔負けの活躍ぶりでした。

そして、娘も他の友達も好成绩！みんなで答えの見せ合いっこでもしたのでしょうか。まあ子どもたちも楽しそうだったので詮索せず良しとしよう。

そんなこんなで文化会館にバスが着き、楽しかったバス旅行も終わりました。

最後に今回の小旅行で感じたことは、今後も地元の行事、次の旅行も参加したいと思ったことです。

しか（鹿）ちゃんかわいかったよ

いとう みさ

私は、しかに（しか）せんべいをあげました。しかは、あげようとすると頭を下げてくれました。

ママは、しかにおしりをかまれていました。ごはんを食べている時に、しかがごはんを食べに来ました。その時に、あい子ちゃんのお母さんが、黒い服を着ていて、しかをおどろかしていました。



ふれあいりょこう楽しかったです。また行きたいです。

バス旅行の思い出

八巻 あい子

私は、バスの中ですごく楽しかった。なぜかと言うと、問題がすごく面白かったです。とくに、「せんとかん」の問題は、一番面白かったよ。正解が「せんとかん」なのに、私は、まちがえて「けんとかん」と書きました。私は、絶対に合っている自信があったけど、まちがえました。

お弁当はすごく美味しかった。また、バス旅行に行きたいです。



ならに行ったよ

石井 香乃花

ならに行ってうれしかったのは、バスでしたクイズで一番せいかいが多かったことと、しかにせんべいをあげたことです。楽しかったことは、おみやげを買ったことです。何を買ったかと言うと、さいしよに買ったのは、あいちゃんとおそろいのしかのキーホルダーです。二こめはしかのぬいぐるみです。また、バスでみんなと行きたいなあと思います。

サロンみゆきの活動

二十六年度さわやかウォーキング第一弾

今は無き「森林鉄道」に思いを寄せて緑豊かな阿寺溪谷へ

加藤 巧

六月十四日（土）、朝六時四十六分にJR亀山駅を出発し、十時三十八分に木曽川沿いの中央線野尻駅に着き、心配した暑さは感じなく、十分程歩き木曽川を渡り、支流の阿寺川沿いに行くと阿寺溪谷入口の標識を通りました。

今日の目的地は、全長六・五キロで途中四キロ地点にある「六段の滝」までの行程です。入口から阿寺川を左下に見て進むと大きな石がゴロゴロとあり、いかにも溪谷といえる景色であり流れる水も非常に澄み、これぞ溪流といえる眺めでした。

途中道沿いには、野いちごが黄色い実を成らせており、摘み取って食べると非常に甘くておいしく、たびたび立ち止って食し疲れを癒してくれました。

また、途中には廃止された森林鉄道の残された鉄橋・岩場に咲く笹ゆりや木曽ヒノキ等を眺めながら目的地の「六段の滝」

を目指しました。滝は期待するほどのもので無く、少し物足りなく感じました。

その後、次の目的である昼食を木々の繁った遊歩道沿いの熊よけの鐘と「熊出没注意」の看板がある枯葉の上に敷物を敷き、妻の作ったにぎりと缶ビールで済ませ帰路に着きました。

最後に阿寺溪谷がある大桑村は、日本一きれいな村と言われるだけあってゴミ類が少しも無くきれいな所であった。

三回クイズ（二十五年）の当選者と第一回クイズに挑戦

挑戦

第三回クイズの正解は、問題一・①玉入れ 問題二・さった峠でした。応募者三十二名、全員が正解でした。正解者多数により、五月一七日開催の「元気クラブ」で、阿弥陀くじによる厳正なる抽選を行った結果、次の皆様が当選しました。

市川美和子、片岡光枝、篠原忠義、藤村美代、森中英夫の皆様でした。今回も奮って応募ください。

第一回クイズ

問題一、五月二十五日「ふれあい小旅行」で行ったところは、どこでしょうか。

- ① 大阪 ② 京都 ③ 奈良

問題二、サロンみゆきのウォーキングで行った「野尻駅」は、JR何線に有るでしょうか。

- ① 関西線 ② 中央線 ③ 東海道線

★ 応募方法・七月三十一日までに、備え付けの解答题紙に記入の上、コミュニティのクイズ受付箱に投函して下さい。

正解者多数の場合は、抽選により五名様に素敵な景品が当たります。

【広報情報部よりお願い】

いつも「みゆきコミュニティだより」を読んでいただきありがとうございます。本年度も、コミュニティの行事を中心に、年三回発行したいと考えています。よろしくご協力お願いいたします。

本年度は、地域の皆様からお寄せの記事も掲載したいと考えています。何でも結構ですので、原稿をご提供していただければ幸いです。コミュニティセンター事務所へお持ちください。